

すこやか

神戸百年記念病院広報誌
kobe Century Memorial Hospital

VOL.
48
2013.11

神戸百年記念病院の理念

地域になくしてはならない
病院になる

— 急性期病院として —

INDEX

- 安全で痛み・苦痛の無い麻酔を目指して
- トイレが近くて困っていませんか?
- 感染対策チームの活動
- ONマスメディア●医療相談
- 病院の理念●100年いきいき教室
- 診療日カレンダー
- 名誉院長の眩き●医師紹介
- お知らせコーナー●漢字クイズ



当院は平成 11 年より(財)日本医療機能評価機構の認定を受けております。

安全で痛み・苦痛の無い麻酔を目指して

— 術中・術後の不安解消を担って —

麻酔集中治療部医師 松本 栄始
部長 尾崎 孝平



もし皆様が手術を受けるようなことがあった場合、麻酔は手術に並ぶ一大関心事だと思います。今回は、安全で痛くなかったと言われる麻酔を実践することを目的としております麻酔科(麻酔集中治療部)について紹介したいと思います。

当院の麻酔科は、専門医3名(部長は指導医も兼任)、認定医1名で、全員が経験年数15~30年のベテラン麻酔科医で構成され、部長は集中治療専門医、呼吸療法専門医の資格も有しています。このため当院は麻酔科認定病院の一つとして日本麻酔学会に登録されるほか、人工呼吸管理などを指導する呼吸療法専門施設として日本呼吸療法医学会に登録されています。麻酔科医の不足が問題になる昨今、当科は県内でも高い専門性を有する麻酔科の一つであると自負しております。

さて、麻酔科医が手術室の中で何をしているかと言うと、当然、麻酔業務なのですが、最も重要な業務は「常に予測外の事態に備える」ことなのです。麻酔科医は手術室のゴールキーパーのような存在と言えます。味方が攻めて勝っているときには、監視しているだけで余り動く必要はありません。しかし、攻め込まれたときには、麻酔科医は患者と外科医を守る存在になります。手術患者の高齢化に加え、手術自体が年々高度でかつ複雑になる状況下では、実際に突然予測に反することが起こります。このために麻酔科医はリスクを嗅ぎ分けて事前に対応し、もし問題が発生した場合にはこれに即応して、患者と手術の安全を担

保しています。

このような麻酔業務を安全に遂行するために、患者様には術前に麻酔科外来を受診して頂き、手術前の身体状況や治療経過を確認させて頂いています。また、麻酔科外来では予定麻酔法の説明や問題点を説明し、術前術後の指導を行っています。

次に、皆様は術後の痛みにも強い関心があると思います。当科では可能な限り術後疼痛を排除するように努力しております。しかし、いかに鎮痛処置を施しても、神経ブロックを併用しない限り全く痛みのない術後はありません。当科では積極的に硬膜外麻酔などの神経ブロックを採用していますが、神経ブロックを実施できない症例では、点滴から鎮痛薬を持続投与しております。これによって、動いたときに多少痛みを感じるものの、それ以外はウトウト安眠して頂けるように鎮痛を実施しております。痛みを我慢させた群と十分な鎮痛管理を実践した群を比較すると、鎮痛管理した群では合併症が有意に軽減したとする報告があります。何卒、痛みは我慢せずに、病棟スタッフにお知らせください。

最後に誰も手術をしたくはありません。手術となれば不安もあり、確実に生活が制約されます。しかし、ひとたび手術に臨むことになれば、十分に準備を行い、安全かつ可及的安楽に周術期を過ごして戴きたいと、当科は強く願っております。疑問や不安をお感じの方は、何なりと遠慮なくご相談ください。



松本医師



麻酔集中治療部スタッフ(中央が尾崎部長)

連携医療機関の皆様へ

当院での診療を希望される患者さまがいらっしゃいましたら、地域医療連携室へお問い合わせ下さい。

漢方のはなし トイレが近くて困っていませんか？

1 過活動膀胱とは？

過活動膀胱 (overactive bladder ; OAB)

急に尿意を催し慌ててトイレに駆け込む。ホッとしたのも束の間、また尿意を感じる。過活動性膀胱 (OAB) とは、このような

「トイレが近い、トイレまで我慢するのが大変」などの症状 (頻尿・尿意切迫感) を示す病気です。

尿意切迫感



急におしっこがたくなり、漏れそうなる

昼間頻尿



5~7回が正常
8回以上なら頻尿と言えます

夜間頻尿



夜間、1回以上おしっこのために起きようなら、夜間頻尿と言えます

尿漏れ



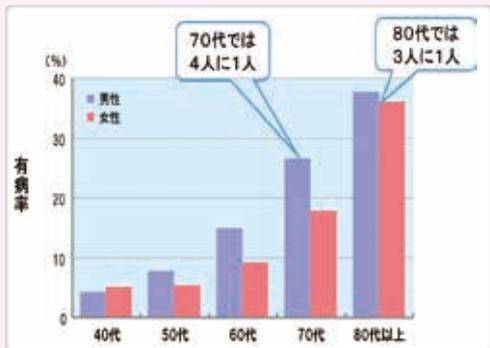
トイレまで我慢できずに、尿が漏れてしまうこともあります

この病気は、周囲の人が考える以上に患者さん本人にとってつらいものです。トイレの不安のために外出を控えたり、尿失禁してしまう自分がなさげなく思えたりします。大きな病気ではな

いけれども、QOL (生活の質) がひどく低下してしまうことが、過活動膀胱の特徴です。

2 患者数

40歳以上の男女8人に1人が、過活動膀胱の症状を持っていることが、最近の調査で分かりました。実際の患者数は、800万人以上ということになります。人は年齢とともにからだの諸機能が低下してきます。過活動膀胱もやはり中高年者に多い状態の1つです。



3 治療

過活動膀胱には一般に、抗コリン薬という薬が処方されます。この薬は、排尿筋をコントロールしている自律神経に作用して、膀胱の過剰な収縮を抑えます。副作用で唾液の分泌が減るため、口が渇いてしまうことがあります。また、便秘もわりとよく起こります。漢方薬は、副作用が少ないので安心して服用して頂けます。

漢方薬の有効症例 (64歳 男性) 4週間後の患者満足度 大変満足

	尿回数 15→10回		夜間尿 2→1回
	尿意切迫感 1回/日 →1回/週		尿漏れ 1回以上/週 →1回以下/週

頻尿でお困りの方は、是非漢方薬をお試ください。 和漢診療科医長 堀江延和

感染対策チームの活動

感染管理認定看護師 楠本理恵



病院は感染によって病気になられた方や免疫力の落ちた方などが同じ空間を共有する場所です。治療のために訪れた病院で新たな感染を受けることがないように私たちが取り組んでいるのが感染対策です。

当院には医師や看護師、薬剤師、検査技師など様々な職種で構成された感染対策チームがあり、日々の感染対策の遵守や改善に取り組んでいます。具体的には手洗いや手指消毒、手袋や

マスク、エプロンの着用などについて職員研修を行ったり、患者さまに使用する機器や物品が清潔な状態で提供できるように消毒方法についてスタッフからの相談に応じたりしております。

今後も患者さまに接する私たち職員が適切に感染対策を実施し、感染拡大の防止を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。



糖質ゼロ



アサヒスタイルフリー

※栄養表示基準による



ON マスメディア

「ステーション」に皮膚科・美容皮膚科部長 濱通子医師の記事が掲載されました。素肌の美しさを医学の立場から支え、全国的にも数少ない美容皮膚科レーザー指導専門医として、シミやアザの治療に当たっています。本誌では洗顔や保湿など日常の基本的なケアについて解りやすく解説しています。



医療相談

中学3年生の子どもをもつ母親です。来年、高校受験を控えているのですが、この時期は毎年インフルエンザが流行するので心配です。R-1ヨーグルトがいいと聞いたことがあります、インフルエンザ予防に有効な食事などあるのでしょうか。また、インフルエンザの予防接種はいつごろに受けさせるのが最適なのでしょうか？受験シーズンを乗りきるためのインフルエンザ予防対策についてアドバイスをお願いします。

受験生の母より

お答えします

インフルエンザの予防に有効な食事として最近話題になっているR-1ヨーグルトは、ナチュラルキラー細胞の働きを活発にして免疫力を高める効果があるといわれています。インフルエンザに限らず、感染症の予防にある程度の効果を発揮すると思われませんが、単一の食品に頼る以上に大切なことは、栄養価の高い食品とビタミン類をバランスよく摂取することです。そして、心身ともにリラックスする時間を作ったり、規則正しい生活で睡眠をしっかり取ることも重要だと思われます。外出時にマスクをしたり、帰宅時にしっかり手洗いやうがいをしてインフルエンザウイルスの侵入を防ぐことも心がけましょう。インフルエンザの予防接種ですが、接種後2週間頃から抗体が上昇ははじめ、接種後1ヶ月位で有効となり、その状態が4~5ヶ月程度持続するといわれています。毎年の流行状況を考えますと、11月中旬頃から12月初め頃の接種が良いかと考えます。ちなみに、13歳以上の人は、1回のみ接種で十分とされていますが、ここ数年インフルエンザに罹ったことも予防接種を受けたこともない人は、より確実に免疫をつけるために2回接種をお勧めします。

小児科部長 芳本貴巳子

病院の理念

【メインテーマ】 地域になくてもならない病院になる 急性期病院として



サブテーマ

1. 高度な専門性を持った医療集団を維持する
2. 地域医療連携ネットワークの充実
3. 患者権利の尊重と医療安全体制の確立

心の約束

1. 使命感 生命と健康を守る尊い使命感
2. 親切心 患者の身内になってまごころをつくす親切心
3. 礼 節 明るい笑顔と明るい挨拶、正しい礼節

“100年いきいき教室”始動!



リハビリテーション科 理学療法士 山坂裕樹

このたび、当院リハビリテーション科の企画として「健康寿命増進」を目的とした新しい教室“100年いきいき教室”をスタートさせます。よりよい生活を送る上で欠かせない“健康・予防”に焦点を当て、様々なテーマの講座を専門家がいき、皆様に情報発信をしていきます。健康・予防に興味のある方、ご家族の介護をされている方、介護職の方など幅広い方々に役立つ講座を企画していきたいと思ひます。第1回目のテーマは“効果的なストレッチと筋力トレーニングの実際”です。ちまたで注目を集めているロコモティブシンドロームの予防に向けての講座で、私達理学療法士が効率の良い運動方法を手取り足取りで伝達させていただきます。参加ご希望の方は、当日開始時間までに当院1Fロビーにお越し下さい。神戸百年記念病院で100歳でもいきいきと毎日を過ごせるよう、一緒に盛り上げていきたいと思ひますので、是非皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

日時: 11月20日(水) 16:00開始

場所: 本館1Fロビー

お問合せ: TEL078-681-6250 (地域医療連携室直通)

※予約制ではありません。皆さまご自由にご参加ください。



診療日カレンダー

11月	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

12月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

2014年

1月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

●年末年始休診:
12月28日~1月5日

名誉院長の
の
呟き

私の幼少時代、腕白小僧が活躍する「トム・ソーヤの冒険」は子供達の人気小説でした。その作者のマーク・トウェインは米国のフロリダ生まれで、ミシシッピー河の水先案内人をしていました。その仕事で、水深二尋(約3.6メートル)と声をかけていたので、ペンネームをマーク・トウェインとしたのです。彼は「禁煙ほど、やさしいものはない。私は6回した。」とユーモアをまぜて語っています。喫煙の害については、人間ドックで「肺癌や慢性閉塞性肺疾患COPDを発症する原因となり、特にCOPDの平均寿命は統計的には69才ですから、一日も早く禁煙して下さい。」と奨めています。現在男性80才、女性86才の長寿社会にあって10年以上も短く、毎日呼吸が苦しい生活を送るのは、出来るだけ避けたいと思います。しかし現在、健康ブームで多くの指導書が出版されていますが、その中に「50才迄喫煙されていたら、禁煙にふみきるストレスが健康に悪影響を及ぼすので、やめる必要はありません。」と記載されるものがあり、何をか言わんやですね。

医師
紹介



平成25年4月より整形外科で勤務しております。地域医療に少しでも役立てればと、日々精進していく所存です。まだまだ至らぬ点多々あるとは思いますが、よろしく願い申し上げます。

整形外科医師 羽田 勝彦

お知らせ
コーナー

糖尿病教室

午後3時30分～
場所：本館3階ロビー

11月22日(金)

合併症2(網膜症)～糖尿病と目の病気～
☆参加費用は無料です。
どなたでもご自由にご参加ください。

ミニコンサート

午後4時～ 場所：本館1階ロビー

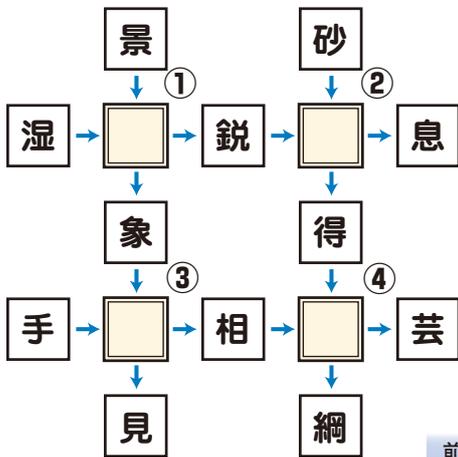
11月22日(金) ピアノライブ 出演 太田 美知彦

12月10日(火) マリンバコンサート 出演 ウッドウン・エコ
どなたでもご自由にお越しください。
コンサートの日程は都合により変更になる場合がございますのでご了承下さい。

Quiz

漢字
クイズ

四角に入る漢字をお答え下さい。
上から読んでも、左から読んでも全て2文字の熟語になります。



解答記入欄

①

②

③

④

応募締切り

平成25年
11月30日
(消印有効)



応募方法

はがきにクイズの答えと、郵便番号・住所・氏名・TEL・ご意見・ご感想をご記入の上、神戸百年記念病院「すこやか編集部」までお送り下さい。
抽選で3名の方に図書カードを進呈致します。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

前回の答えは「起死回生」でした。多数のご応募をいただきありがとうございました。今回もふるってご応募ください。

編集後記

今年も霜月になってしまいました。これから寒くなります。風邪をひかないようご注意ください。今回のメインは麻酔の話。興味深く読んで頂けたでしょうか。でもいくら安全でも手術は嫌ですよ。そう、病気になる前の杖、日頃の生活が肝心です。「100年いきいき教室」に参加して運動不足を解消しましょう。11月20日病院ロビーでお待ちしております。

医療法人社団 顕鐘会
神戸百年記念病院 すこやか編集部

編集責任者 楠 徳郎
〒652-0855 神戸市兵庫区御崎町1-9-1
TEL (078)681-6111(代)
FAX (078)681-6118
<http://www.kobe-century-mh.or.jp/>

お詫び

*47号2面「健康ポックリ講座」の日程に誤りがございましたので、訂正してお詫びいたします。

(誤) 12月5日 乳癌 高田部長 →(正) 12月5日 肥満・やせ 黒木部長
(誤) 1月16日 肥満・やせ 黒木部長 →(正) 1月16日 乳癌 高田部長



でんでん虫マークの個人タクシー

神戸個人タクシー事業協同組合

タクシーのご用命は「乗って安心」神戸個人タクシーへ

無線配車センター：☎078-651-2233



無線配車センターより迅速、的確な配車でお客様のご要望に対応します。お近くでもお気軽にご利用ください。